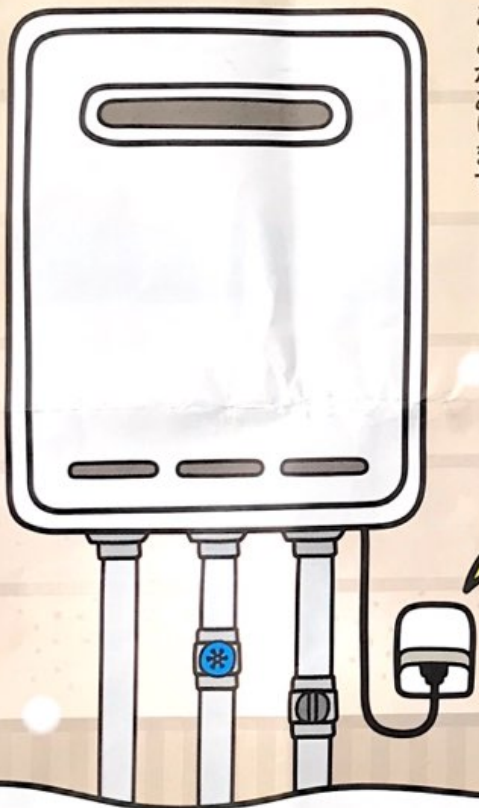
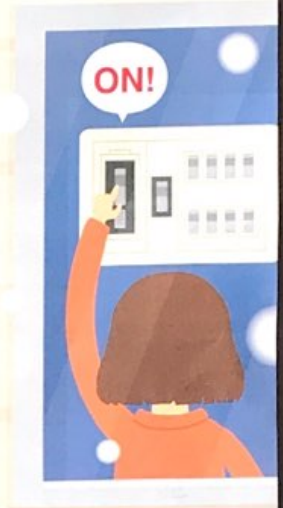


寒い冬には ガス給湯器の凍結に ご注意ください!!



ガス給湯器には、凍結予防ヒーターが装備され、自動で機器内部の凍結予防を行うことのできる機種もありますが、この時期、特に気温の下がる夜間や早朝時には、ガス給湯器や配管内の水が凍結して、お湯が出なくなる場合があります。



屋外給湯器は、凍結予防ヒーターが組み込まれています。**必ず電源コンセントを差しておいてください。**数日間、家をあける場合も給湯器につながっている**ブレーカーだけは落とさないようにしてください。**

冬場の凍結対策としてお役立てください!

❄️ ガス給湯器の凍結予防方法 ❄️

ガス給湯器の**給水・給湯配管**に、保温材などの凍結を防止する措置が取られていない場合、風の強い日などでは気温が氷点下にならなくても、配管内が凍結してお湯が出なくなるおそれがありますので、**保温材で巻くなど凍結防止の対策をお取りください。**



ガス給湯器の凍結による故障につきましては、保証期間内でも有償修理となりますので、ご注意ください。

特に冷え込みの厳しい日の凍結予防について

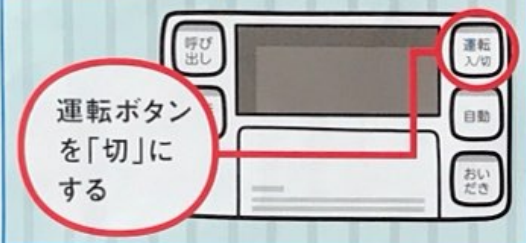
冬場の低温注意報発令時や特に冷え込みの厳しいときは、保温材の対策を行っても、給水・給湯配管やガス給湯器内部が凍結してしまうおそれがあります。その際には、以下の処置を行うことで、給水・給湯配管およびガス給湯器内部の凍結を予防できます。



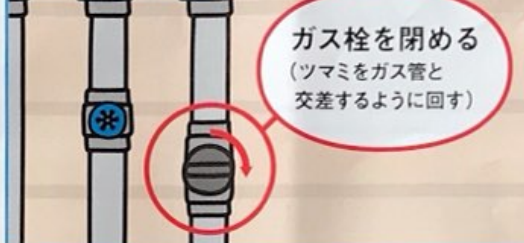
- 1 ガス給湯器のリモコンがある場合は、運転スイッチを「切」にしてください。リモコンがない場合には、ガス給湯器のガス栓をしっかりと閉めてください。

(※この作業を行うことによりガス給湯器が燃焼する可能性があるため)

リモコンがある場合

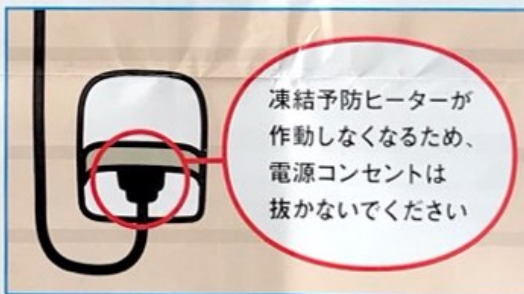


リモコンがない場合



- 2 給湯栓を開いて、少量の水〔1分間に約400cc(太さ約4mm)〕を流したままにしてください。

(※この処置による水道代は、お客さまのご負担となりますことをご了承ください。(浴槽等で受けると洗濯などに再利用でき経済的です))



凍結してしまったら

万一、配管が凍結した場合には、無理に溶かそうとはせず、自然に解凍するまでお待ちいただくことをおすすめします。また、水が出るようになっても、ガス給湯器本体や給水・給湯配管から水が漏れていないかなどを確認して、ご使用ください。

未入居の住居または長期間ご使用になられない場合

未入居の住居や、ガス給湯器を長期間ご使用になっておらず電源をお切りになられている場合には、ガス給湯器内部の凍結防止のため、**本体の水抜き**をおすすめします。水抜きの方法については、ガス給湯器の取扱説明書をお読みください。また、水抜き作業は最寄りのガスライフにて有償にて承ることができます。ご依頼につきましては、広島ガスお客さまセンターへお問い合わせください。

広島ガスお客さまセンター/ガス機器修理受付



0570-005-502

受付時間 24時間365日

※ナビダイヤルをご利用になれない場合

(一部のIP電話・海外からのご利用など)は

082-251-2176 へおかけください。



このまち思いエネルギー
広島ガス

2021-12Y